東京人生活

四五人の連れなりしかどゆくりなく君と相並ぶ電車の席なりレストランの屋上にいつれば眼の前に廣告燈は明滅してゐる

品川の海よりの風か七階の屋上庭園の幕はたはたす

銀坐通りの露店に繪を賣る繪家の顏を見覺えあるかに思ふさびしさ

今日今日と生きの命を怪しまず暮せるおもひ戰きにけり

銀坐通りに降りて積らぬ白雪はアスファルトの道を濕うせにけり